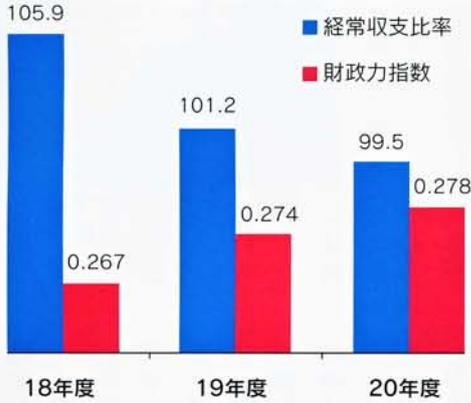


平成 20 年度

決算 8 会計を認定

財政指標の推移



※財政指標の見方は 13 ページを御覧下さい

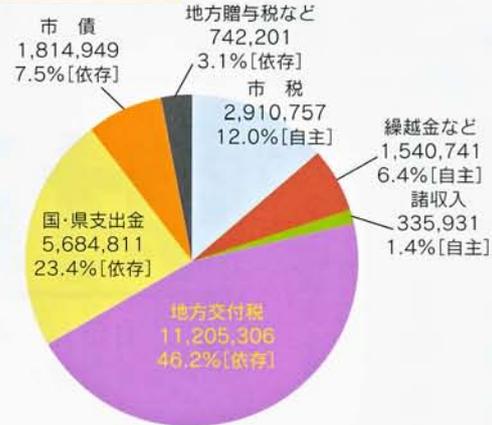
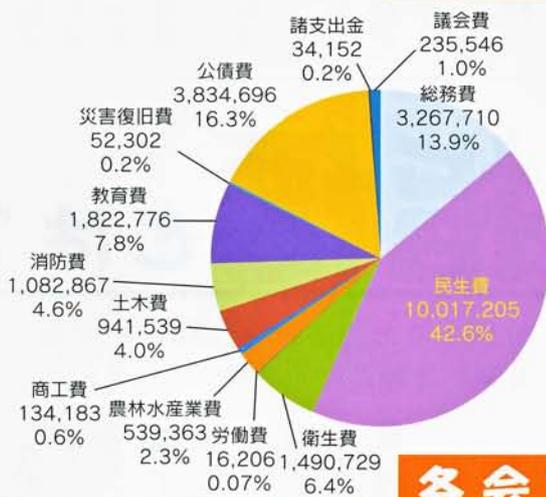
決算特別委員会において、平成20年度の一般会計ほか7会計の決算審査を行いました。

一般会計においては、歳入総額242億3469万円、歳出総額234億6927万円とし、歳入歳出差引額は、7億6542万円で、うち2億1千万円は基金に繰り入れます。

市の財政状況としては、市税などの自主財源が19.8%、地方交付税や国県支出金などの依存財源が80.2%と、他に頼った自治体運営となっていますが、経常収支比率が99.5%、財政力指数が0.278ポイントと、徐々に行財政改革の効果が表れてきています。

審査の結果、8会計とも出席者全員をもって認定されました。

一般会計決算の状況



各会計の決算額

	歳入	歳出	差引額	
一般会計	242億3,469万円	234億6,927万円	7億6,542万円	
国民健康保険事業特別会計	53億1,264万円	54億8,038万円	△1億6,774万円	
老人保健事業特別会計	6億9,170万円	6億2,804万円	6,366万円	
後期高齢者医療特別会計	5億3,614万円	5億2,834万円	780万円	
住宅新築資金等貸付事業特別会計	1億4,011万円	1億2,904万円	1,107万円	
介護保険事業特別会計	保険事業勘定	50億8,334万円	49億4,190万円	1億4,144万円
	サービス事業勘定	5,182万円	5,182万円	0
水道事業会計	7億2,891万円	9億5,210万円	△2億2,319万円	